

「大鹿村内発生土仮置き場における
環境の調査及び影響検討の結果について」
「大鹿村内発生土仮置き場における
環境保全について」
の一部更新について



令和2年2月

東海旅客鉄道株式会社

①「大鹿村内発生土仮置き場における
環境の調査及び影響検討の結果について」

目次

【本編】

第1章 本書の概要

第2章 工事概要

第3章 調査及び影響検討の手法

第4章 調査結果の概要並びに影響検討の結果

第5章 環境の保全のための措置

第6章 環境保全措置の効果に係る知見が不十分な場合の調査

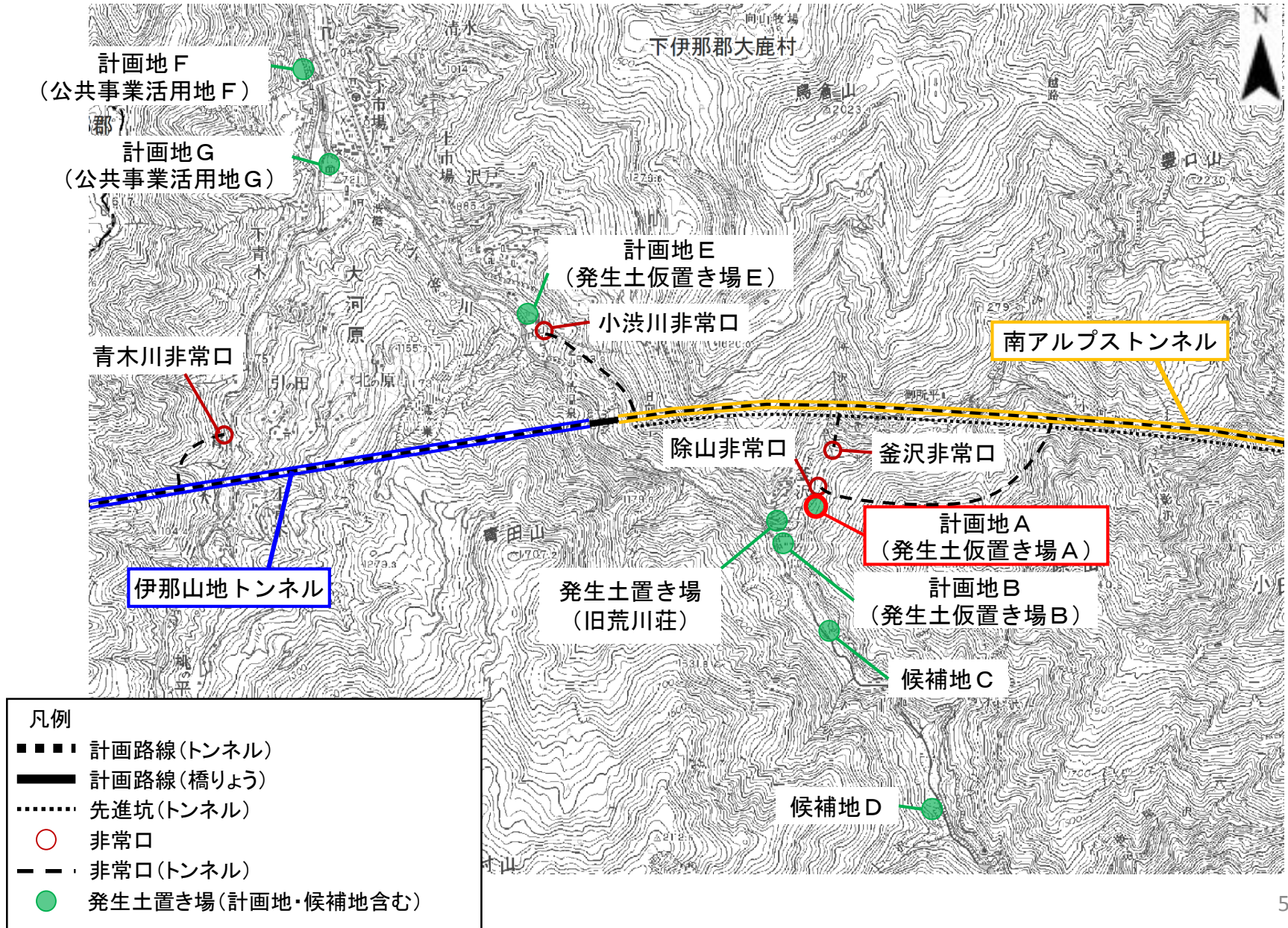
第7章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価

【資料編】

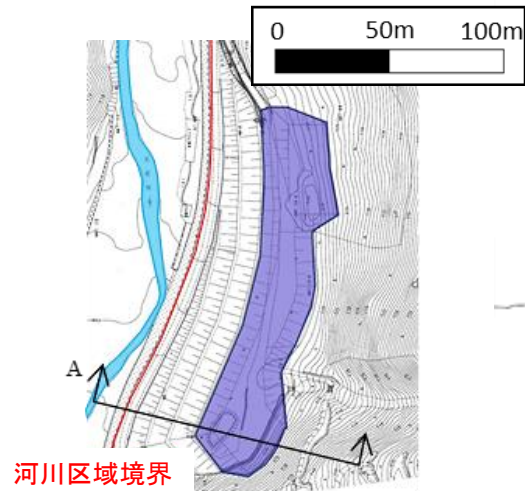
【資料編(非公開版)】

- 中央新幹線事業については、平成26年10月17日に工事実施計画の認可を受け、工事に着手しました。
- 環境影響評価書において、発生土置き場等を新たに当社が今後計画する場合には、場所の選定、関係者との調整を行った後に、環境保全措置の内容を詳細なものとするための調査及び影響検討を実施することとしています。
- 本書は、大鹿村において計画が具体的となった発生土仮置き場計画地について、調査及び影響検討の結果をとりまとめたものです。
- この度、発生土仮置き場Aについて、盛土範囲を拡大し、かつ嵩上げすることで容量を増やす計画とするため、本書を更新しました。

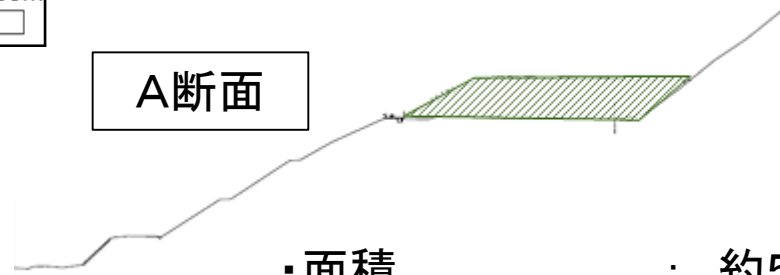
路線概要及び工事位置



<計画その1(更新前)>

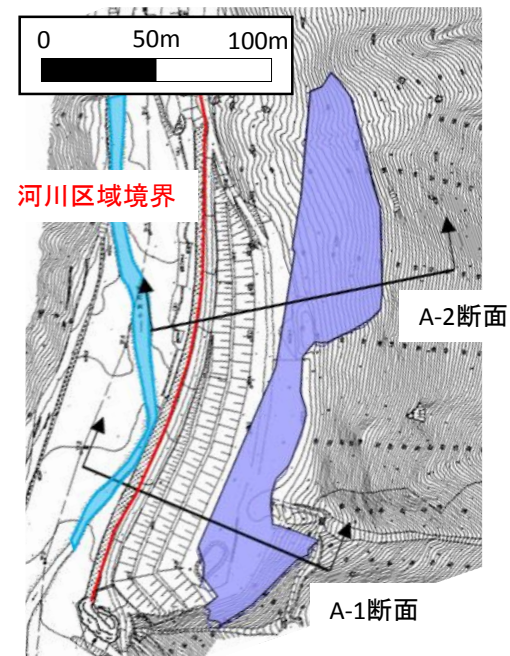


A断面

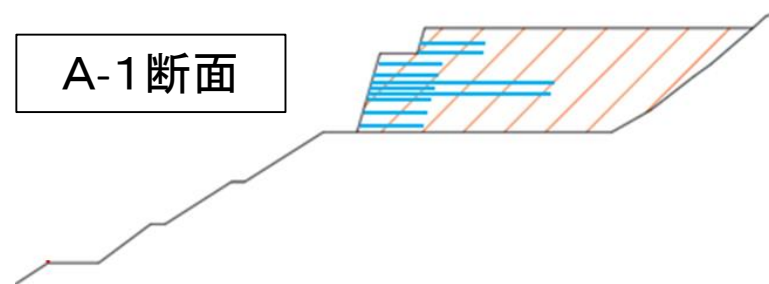


- ・面積 : 約5,100m²
- ・容量 : 約15,000m³
- ・最大盛土高 : 約5m

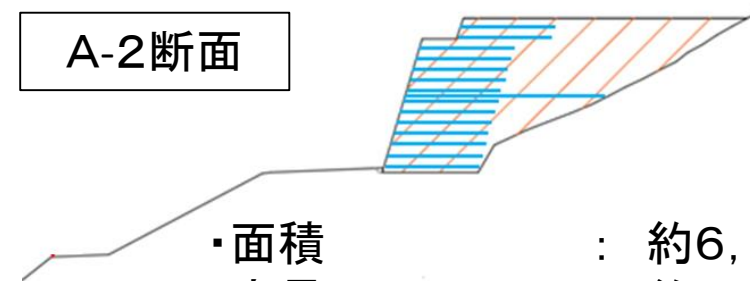
<計画その2(更新後)>



A-1断面



A-2断面

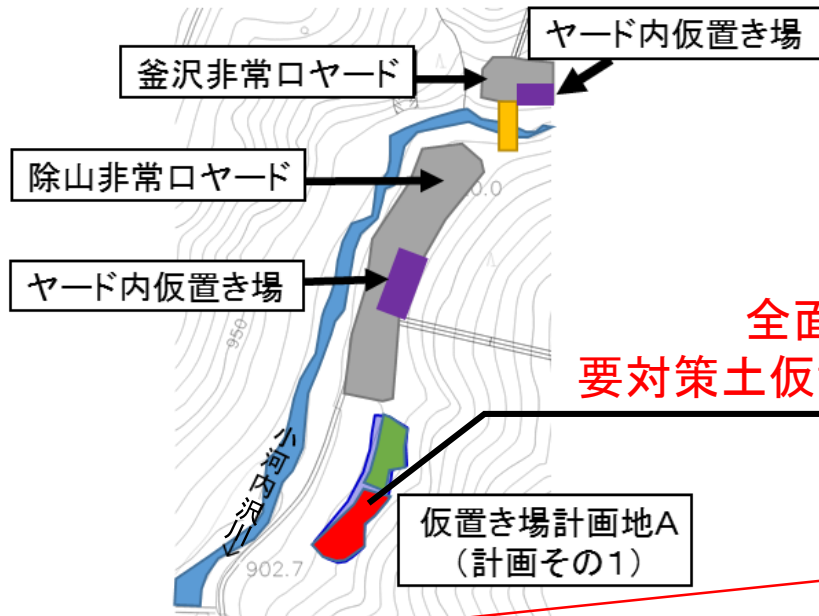


- ・面積 : 約6,500m²
- ・容量 : 約39,000m³
- ・最大盛土高 : 約18m

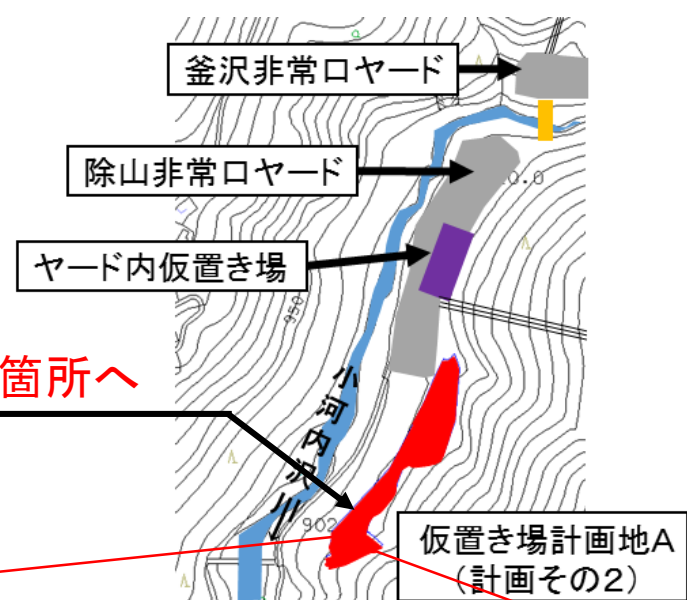
発生土仮置き場計画地Aにおける盛土計画

本編P2-5、6

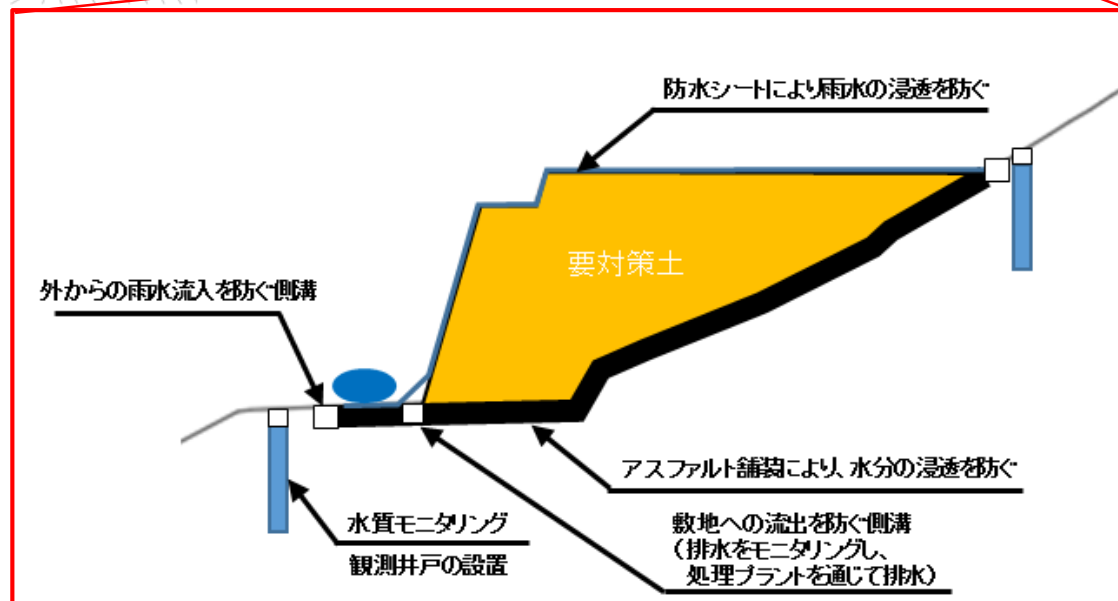
<計画その1(更新前)>



<計画その2(更新後)>



全面を
要対策土仮置き箇所へ



建設機械の稼働台数

<今回更新前>

年台数ピーク時(1年目1/4~4/4)

建設機械	規格	1年目							
		1/4		2/4		3/4		4/4	
		最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年
ブルドーザ	21t	26	78	0	0	0	0	0	0
タイヤローラ	8-20t	26	78	0	0	0	0	0	0
バックホウ	0.8m ³	26	78	0	0	0	0	0	0

建設機械	規格	3年目			
		1/4		2/4	
		最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年
ブルドーザ	21t	0	0	0	0
タイヤローラ	8-20t	0	0	0	0
バックホウ	0.8m ³	16	16	26	26

更新前は3年目に撤去予定



4年目4/4より
追加部分運搬・全体撤去

<今回更新後(3年目以降)>

建設機械	規格	3年目							
		1/4		2/4		3/4		4/4	
		最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年
ブルドーザ	21t	0	0	0	0	0	0	0	0
タイヤローラ	8-20t	0	0	0	0	0	0	0	0
バックホウ	0.8m ³	0	0	0	0	0	0	0	0

年台数ピーク時
(5年目2/4~6年目1/4)

建設機械	規格	5年目							
		1/4		2/4		3/4		4/4	
		最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年
ブルドーザ	21t	23.5	23.5	23.5	70.5	23.5	70.5	23.5	70.5
タイヤローラ	8-20t	23.5	23.5	23.5	70.5	23.5	70.5	23.5	70.5
バックホウ	0.8m ³	23.5	23.5	23.5	70.5	23.5	70.5	23.5	70.5

建設機械	規格	6年目							
		1/4		2/4		3/4		4/4	
		最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年	最大台数/月	総台数/(1/4)年
ブルドーザ	21t	23.5	70.5	23.5	47	0	0	0	0
タイヤローラ	8-20t	23.5	70.5	23.5	47	0	0	0	0
バックホウ	0.8m ³	23.5	70.5	23.5	70.5	23.5	70.5	23.5	70.5

検討項目	影響要因		
	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両	発生土仮置き場の設置
大気質	●	—	—
騒音	○	—	—
振動	○	—	—
水質(水の濁り)	—	—	○
重要な地形及び地質	—	—	○
土地の安定性	—	—	●
文化財	—	—	○
動物	○	—	○
植物	—	—	○
生態系	○	—	○
景観	—	—	○
人と自然との触れ合いの活動の場	—	—	○
温室効果ガス	○	—	—

「●」は、今回の更新に伴い再検討及び追加検討を実施した項目を示します。

【建設機械の稼働 検討結果】

●二酸化窒素

検討地点	環境濃度(ppm) ※[]内が更新前の値		基準	基準適合状況
	年平均値	日平均値の 年間98%値		
最大濃度地点	0.01082 〔0.00323〕	0.021 〔0.011〕	日平均値の 年間98%値が 0.06ppm以下	○
直近住居等	0.00151 〔0.00109〕	0.010		○

●浮遊粒子状物質

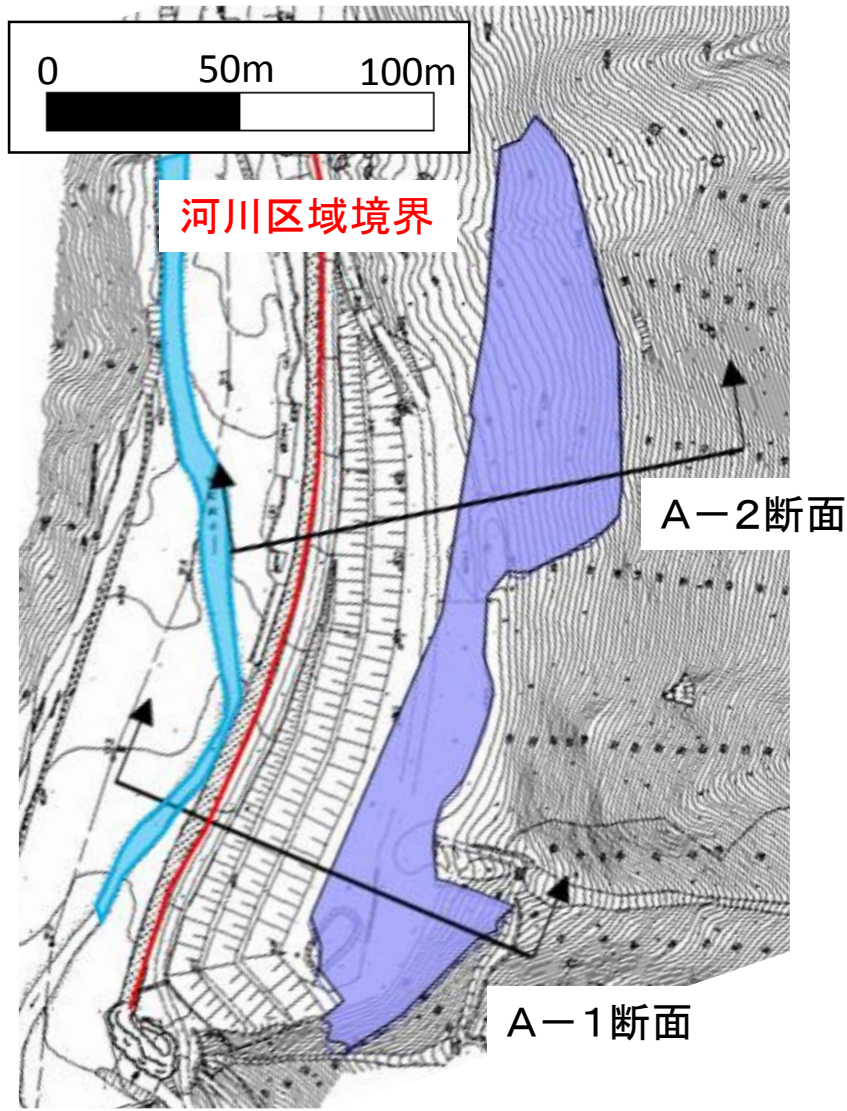
検討地点	環境濃度(ppm) ※[]内が更新前の値		基準	基準適合状況
	年平均値	日平均値の 年間98%値		
最大濃度地点	0.01299 〔0.01218〕	0.034 〔0.033〕	日平均値の 年間2%除外値が 0.10mg/ m ³ 以下	○
直近住居等	0.01204 〔0.01201〕	0.033		○

●建設機械の稼働

検討地点	検討値(t/km ² /月) ※[]内が更新前の値				基準(※1)	基準適合状況
	春季	夏季	秋季	冬季		
最大濃度地点	0.24 [-]	0.24 [-]	0.24 [0.14]	0.12 [0.14]	10t/km ² /月	○
直近住居等	0.24 [-]	0.24 [-]	0.24 [0.14]	0.12 [0.14]	10t/km ² /月	○

※1 : 参考値

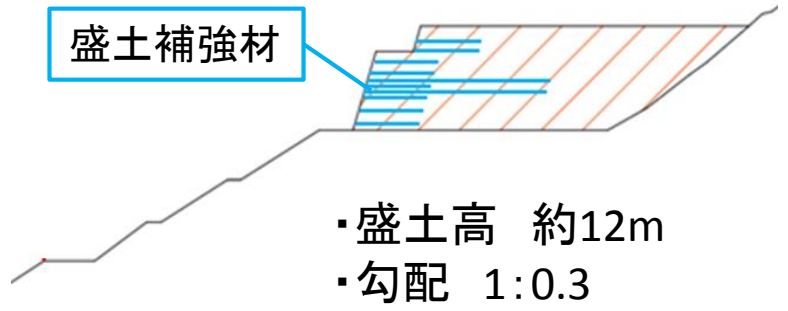
<平面図>



<断面図>

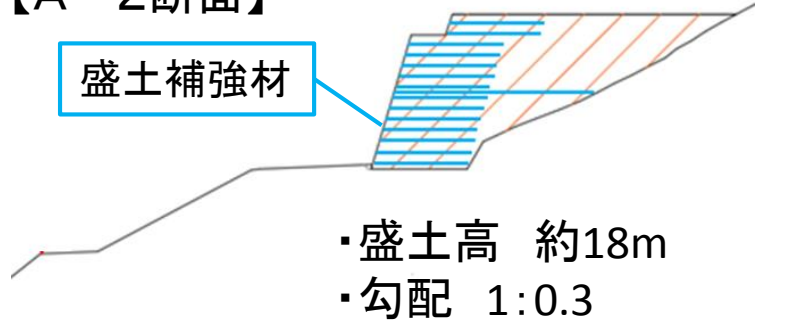
【A-1断面】

盛土補強材



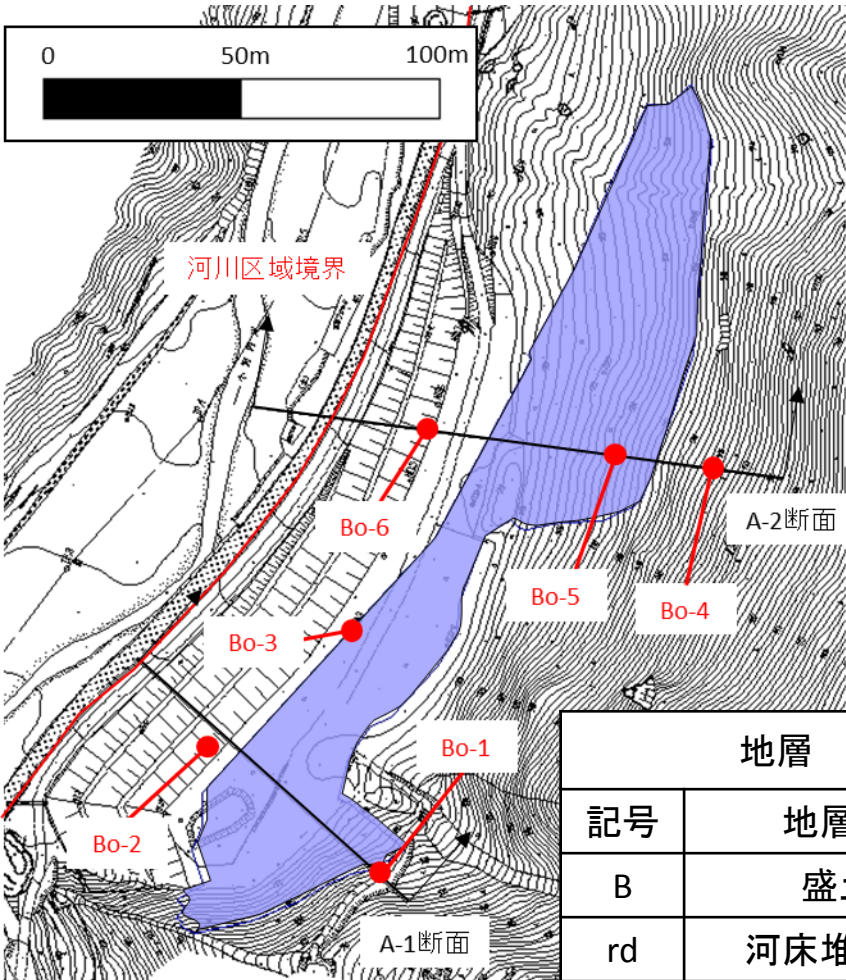
【A-2断面】

盛土補強材

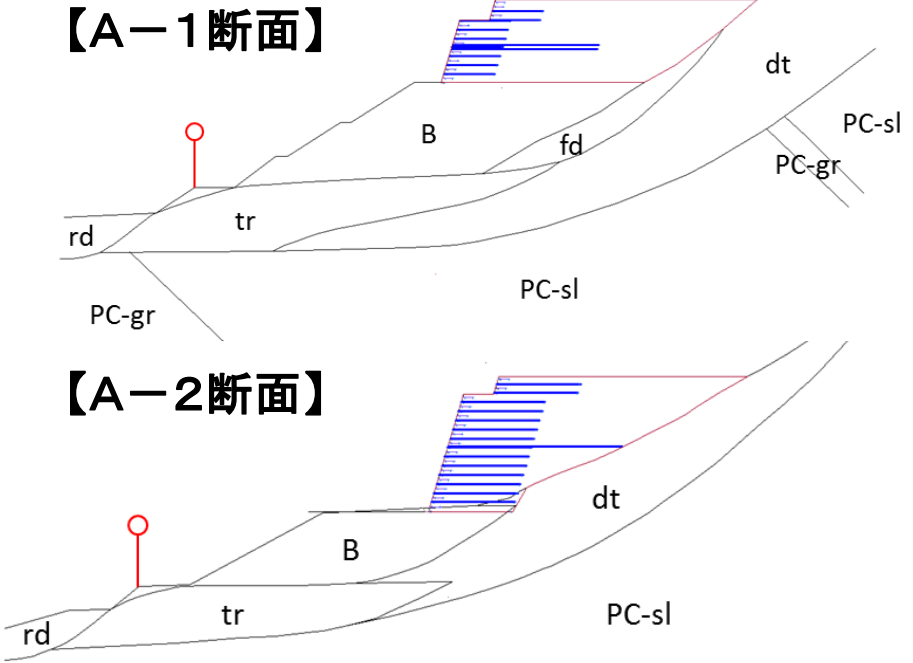


盛土に補強材を使用し、安定計算のうえ安定性を確認

<平面図>

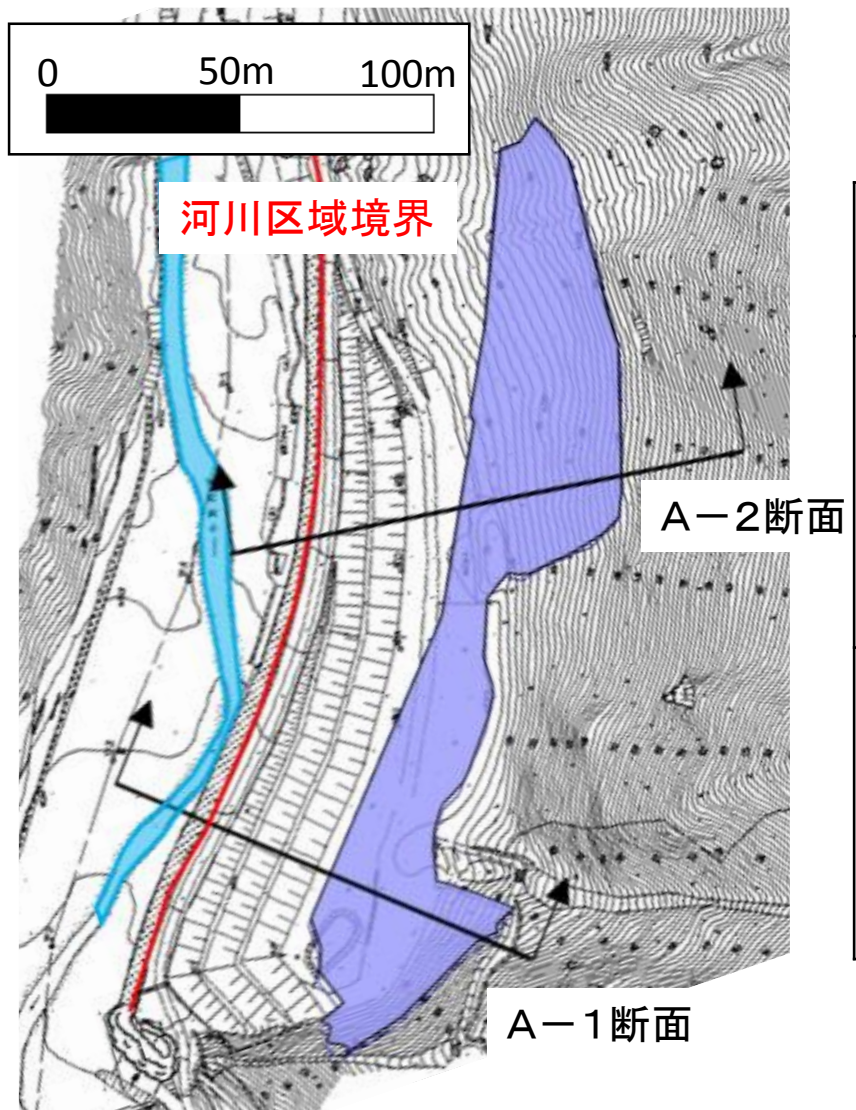


<断面図>



地層		単位体積重量 γ (kN/m ³)	内部摩擦角 φ (°)	粘着力 C (kN/m ²)
記号	地層名			
B	盛土	20	28	0
rd	河床堆積物	18	35	0
dt	崖錐堆積物	19	35	0
fd	扇状地堆積物	18	35	0
tr	定位段丘堆積物	20	35	0
Pc	中古生層	27	35	500

<平面図>



<断面図>

断面	検討ケース		安全率	許容安全率	判定
A-1	内的	常時	2.196	1.2	○
	全体		1.201		○
	内的	地震時 (レベル1)	1.674	1.0	○
	全体		1.017		○
A-2	内的	常時	1.466	1.2	○
	全体		1.209		○
	内的	地震時 (レベル1)	1.294	1.0	○
	全体		1.021		○

②「大鹿村内発生土仮置き場における
環境保全について」

目次

【大鹿村内発生土仮置き場における環境保全について】

第1章 本書の概要

第2章 工事の概要

第3章 環境保全措置の計画

第4章 事後調査及びモニタリング

第5章 発生土仮置き場の管理計画

※赤字下線部 : 一部更新箇所

※第1章、第2章については、
「大鹿村内発生土仮置き場における
環境の調査及び影響検討の結果について」
と同様のためご説明は省略します。

- 工事前の確認調査では、改変範囲内に植物の重要な種(ナガミノツルキケマン)の生育を確認しましたが、同種は改変範囲周辺にも多数の生育を確認していることから、同質の生育環境が広く分布していると考え、移植・播種は実施いたしません。

※希少種保護の観点から位置等の情報については非公開にしています。